

## 小学校教員としての実務経験を基に、上位免許状を取得したい方 (4年制大学卒業者の小学校教諭1種免許状)

### 免許状の種類

- 小学校教諭1種免許状

### 根拠規定

- 免許法別表第3、免許法施行規則第11条及び第12条

### 取得方法

- 小学校教諭2種免許状を有する方が、大学に3年以上在学し、かつ93単位以上修得している場合に、小学校教員としての在職年数と必要な単位を修得し、小学校教諭1種免許状を取得する方法は、〈表12〉のとおりです。

<表 1 2 >

取得しようとする免許状			小学校教諭 1 種免許状				
所要資格	有することが必要な免許状		小学校教諭 2 種免許状				
	在職年数		3 年	4 年	5 年	6 年	
	最低修得単位数の合計 (7) + (イ) + (ウ) + (エ)		25 単位	20 単位	15 単位	10 単位	
選択科目 (注) の 3 参照 最低修得単位数 (ア)			5 単位	2 単位	—	—	
欄	科目	含めることが必要な事項					
第 2 欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	1 科目以上 (注) の 4 参照	1 科目以上 (注) の 4 参照	1 科目以上 (注) の 4 参照	1 科目以上 (注) の 4 参照	
		最低修得単位数 (イ)	2 単位	2 単位	1 単位	1 単位	
第 3 欄	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	1 単位以上	1 単位以上	1 単位以上	左の事項から 選択	
		教育の基礎的理論に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	1 単位以上	1 単位以上		左の事項から 選択
			教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2 事項以上 各 1 単位以上 (注) の 5 参照	2 事項以上 各 1 単位以上 (注) の 5 参照		
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	必須ではない (注) の 6 参照	必須ではない (注) の 6 参照		
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	1 単位以上	1 単位以上					
第 4 欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	1 単位以上	1 単位以上	左の事項から 選択		
		総合的な学習の時間の指導法	必須ではない (注) の 6 参照	必須ではない (注) の 6 参照			
		特別活動の指導法	1 単位以上	1 単位以上			
		教育の方法及び技術	1 事項以上 1 単位以上	1 事項以上 1 単位以上			
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法					
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	1 単位以上	1 単位以上	1 単位以上	1 単位以上			
		最低修得単位数 (ウ)	13 単位	13 単位	12 単位	7 単位	
第 6 欄	大学が独自に設定する科目	最低修得単位数 (エ)	5 単位	3 単位	2 単位	2 単位	

(注)

- 1 在職年数は、小学校教諭2種免許状を取得した後の小学校（義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部を含む。）での実務に限ります。
- 2 修得単位は、小学校教諭2種免許状を取得した後に修得した単位に限ります。
- 3 「選択科目」は第2欄、第3欄及び第4欄の科目の中から修得、または一般教育科目等の群馬県教育委員会が認める科目から修得するものとし、幅広く深い教養を身につけるよう努めてください。
- 4 「教科に関する専門的事項」の単位修得方法は、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の各外国語に分ける。）の教科に関する専門的事項を含む科目のうち、1以上の科目について修得してください。
- 5 「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」については、同欄の事項「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」とあわせた単位の修得でもかまいません。
- 6 「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」、「総合的な学習の時間の指導法」の単位の修得にあっては必須ではありませんが、修得した場合は、それぞれの欄の単位として含めることができます。